

大遠忌法要まであと1ヶ月

宗祖のご遺徳を偲ぶ

4月9日から関連法事行事を含め65日・115座 教区から7,192人が団参



「親鸞聖人750回大遠忌法要」が厳修される4月9日まであと一ヶ月となった。現在、本山では、御影堂の掛け出しや参拝席、堀川通団体参拝バス降車場所、参拝者仮設通路、北境内地休憩施設などの設置工事が急ピッチに進められている。また、教務所や各寺院においても法要への団体参拝の準備などに余念がない。



発行 和歌山教区基幹運動推進委員会
編集 教区報編集委員会
和歌山市鷺森1番地
鷺森別院内
電話 和歌山(073)422-4677
FAX 和歌山(073)428-2450
発行人 杉本 正信

「世のなか安穏なれ」をスローガンとした「大遠忌法要」がいよいよ4月9日から来年1月16日まで、青少年・幼児を対象とした法要行事を含め65日間、全115座の日程で厳修される。2005(平成17)年に「親鸞聖人750回大遠忌法要」についての消息」が發布されてから7年。宗門は教団をあげてその準備に取り組んできた。

大遠忌法要で用いるお勤めの作法として3種類の「宗祖讃仰作法」の制定。法要ポスターの全寺院配布、『宗報』の特集記事掲載、「安穏」図柄を用いた年賀はがきの作成、法要ワッペン制作など、多彩な広報宣伝活動を展開してきた。

各教区・組・寺院においては「750回大遠忌お待ち受け法要」が厳修された。1月末の段階で、全国に511ある組のほか、465の組で厳修。17万4千21人の門信徒が参拝し、1万1千438人の方々が帰敬式を受式した。

和歌山教区においても3月までにすべての組で「お待ち受け法要」が厳修される。

そして和歌山教区から7千192人(3月1日現在)の門信徒が大遠忌法要に参拝する予定となっている。

鷺森テレホン

紙上法話

肥田 眞琴

(和歌山教区・本願寺派布教使)

この間お正月だと思っていたのに早や3月。あつという間に月日が過ぎて行きます。来月からは待ち遠しい親鸞聖人750回大遠忌がお勤めされます。矢のように飛んでいく1日1日を私たちはどんな思いで過ごしているのでしょうか？

毎日のニュースを見ていると目を覆いたくなるような事件ばかり流れています。人の命、自分の命を奪うのは日常茶飯事。人の心に何がすんでいるのでしょうか？

今、日本では年間3万人もの自死する人が出ています。私たちは自分の命が自分のものだと

勘違いしているのではないのでしょうか。

私たちは生まれたときから自分の体は自分のものだと思っ

ていますが、果たしてそうでしょうか。不思議なご縁によってこの体が誕生しました。考えてみれば髪の毛から足の爪まで自分で作ったものは一つもありません。多くの命をいただいているこの

命が支えられてきたことに気が付いていません。その上、毎日の殺人や争いのニュースを見て、他人事だと思っています。

でも、日々の食卓を振り返ってください。「このお造り新鮮やわー」と言って食べている魚介類、食べられているお魚の方から見れば、私たちはまさに鬼であります。自分の意に沿わない人に出会うと「あんな人、いなくなればいいのに」と心の中

「鬼になるなよ、餓鬼になるなよ。どうか仏と成ってくれよ」

でその人を殺しています。

そんな私たちを如来様は常に見守り続けられています。なかなかそれには気が付きません。それどころか、その願いとまるで反対のことをし続けているのです。そんなお粗末な自分の姿に気付いた時、はじめて如来様のお慈悲を素直に喜ばせていただけるとは思いません。

か。

「鬼になるなよ、餓鬼になるなよ。どうか仏と成ってくれよ、必ず救う、まかせておけ！」と阿弥陀様は願い続け、呼び続けてくださっています。そのお呼び声が「南無阿弥陀仏」です。私たちはその言葉に支えられながら、この人生を最後まで安心して歩ませていただくのです。

鷺森テレホン 法話

073-422-0243

おにしさん

24時間いつでもどこからでも
法話が聞けます。

親鸞聖人750回大遠忌法要

新企画

祖蹟点描

> 1

いよいよ宗祖親鸞聖人の750回大遠忌法要の幕が切つて落とされる。来る4月9日から来年の1月まで、関連法要行事を含め65日間・115座の法要が営まれる。そこで、今号から来年まで、本願寺教学伝道研究所で常任研究員の岩谷教授さんに、「祖蹟点描」と題し連載してもらうことにした。

◆五〇年前の大遠忌

昭和三十六年（一九六一）、六条堀川の本願寺で親鸞聖人七〇〇回大遠忌法要が厳修されました。当時のご門主は勝如上人（大谷光照師・五〇歳）で、現ご門主即如上



人（光真師）は弱冠一六歳。法統

継承の一六年前のことで、麻布高校に進まれ歴代慣例の関東御修行中のことでした。

この時の大遠忌は二期二五日間に亘つて営まれ、延べ一〇〇万人

宗祖往生の地「角坊」

すみのほう

の門信徒がご真影様をお慕いして参詣されたといえます。（写真⑤）

その記念事業の一環として建設されたのが御影堂門前の本願寺会館で、七〇〇名強収容の大ホールでは御正忌法要の通夜布教や演奏会、講演会など様々なイベントが催され、一階の大広間は長く門信徒の聞法の間・総会所として親しまれてきました。



今回、老朽化のため建物自体はその役目を終えましたが、跡地には新たに仏教総合博物館「龍谷ミ

ュージウム」が建設され、四月五日にオープン予定。新たな歴史を刻もうとしています。

◆カウントダウン「あと四〇日」

三月一日現在、御影堂門横に表示された法要までの日数です。「いよいよだな」と日々実感しています。

さて、法要の主人公・親鸞聖人が終焉を迎えられたのが、京都市右京区の「角坊」です。（写真⑥）

聖人は晩年、実弟尋有僧都の里坊「善法坊」に身を寄せられました。その一角に住まわれたことから「角坊」の名があります。八五歳のお手紙には「目もみえず候ふ。なにごとみもみえず候ふ」と、老衰を自覚される聖人の言葉が見えますが、その五年後、弘長二年一月二十八日（一二六三年一月十六日）、九〇歳を一期として往生の素懷を遂げられたのです。

その臨終には、尋有はもとより晩年の聖人のお世話をされていた末娘覚信尼公が侍り、越後から息男益方入道道性、関東からは高弟高田の顕智房、遠江の専信房らが駆けつけたといえます。

江戸時代末頃、宗祖六〇〇回大遠忌を期に、第二〇代広如上人が学僧僧純に命じ往生の地を考証させ、安政四年（一八五七）現在地に「角坊」が建立されました。

今回の法要にあたり本堂（還浄殿）・寺務所・集会所が新築され、祖徳讃仰の志念を昂めています。団参の際には併せてご参拝ください。

（教学伝道研究センター・本願寺教学伝道研究所常任研究員 岩谷 教授 いわたに さずく）

法要の1日と日程 関連行事アラカルト

法要日程 (56日間・110座)	
2011(平成23)年	
4月9日(土)～16日(土)	8日間・16座
5月9日(月)～16日(月)	8日間・16座
6月9日(木)～16日(木)	8日間・16座
9月9日(金)～16日(金)	8日間・16座
10月9日(日)～16日(日)	8日間・16座
11月9日(水)～16日(水)	8日間・16座
2012(平成24)年	
1月9日(月)午後～	
1月16日(月)午前	8日間・14座
青少年・幼児を対象とした法要行事(9日間・5座)	
● 幼児対象	
「園児のつどい しんらんさまありがとう」	
5月20日	
● 少年対象	
「子どものつどいin本願寺	
本願寺キッズサンガ・児童念仏奉仕団」	
第1回7月25日(月)～26日(火)	
第2回7月27日(水)～28日(木)	
第3回7月29日(金)～30日(土)	
● 青年対象	
2011年「全国真宗青年の集い」	
「龍谷総合学園合同文化祭」	
8月6日(土)～7日(日)	

1日の基本日程		
5:30	開門	
6:00	晨朝	両堂
7:00	※晨朝後の帰敬式は執り行われません。	
8:30	御影堂入堂	
9:30	参拝者のつどい	
9:45	縁儀	
10:00	大遠忌法要(午前) 法要に引き続きご門主お言葉	御影堂
11:00	御影堂退堂	
11:30	帰敬式(午前)	阿弥陀堂
13:00	御影堂入堂	
14:00	参拝者の集い	
14:15	縁儀	
14:30	大遠忌法要(午後) 法要に引き続きご門主お言葉	御影堂
15:30	御影堂退堂	
16:00	帰敬式(午後)	阿弥陀堂
17:00	帰敬式後日没勤行	
18:00	閉門	
大遠忌法要のお勤め		
9日～12日 宗祖讃仰作法 第1種		
13日～16日 宗祖讃仰作法 第3種(音楽法要)		

14日	12日	11日	9日	6月	15日	14日	13日	12日	11日	9日	5月	16日	15日	13日	12日	11日	10日	4月	
紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	海有	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和	紀和
南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山
組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組
1	8	2	1		9	5	6	1	3	5	8	3	1	2	3	2	5	5	1
0	4	6	5		0	0	4	4	0	0	0	0	5	8	0	3	3	0	0
人	人	人	人		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
15日	13日	12日	9日	11月	16日	15日	14日	9日	10月	15日	14日	11日	10日	9月	16日	15日	6月		
和歌	和歌	和歌	和歌	和歌	紀海	紀海	紀海	伊和	伊和	紀有	紀有	紀有	紀有	紀有	紀有	紀有	紀有	紀有	紀有
山北	山北	山北	山北	山北	南山	南山	南山	鷺森	鷺森	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山	南山
組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組
1	9	7	5	0	1	2	4	3	8	9	3	8	9	3	8	9	1	1	9
2	0	7	0	8	3	4	0	5	9	0	0	1	0	4	0	4	1	0	7
5	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

和歌山教区各組団参日程

4月9日から来年1月16日まで青少年・幼児を対象とした関連法要行事を含め、65日間、計115座が修行される。法要期間中には、全国より30万人の門信徒が参拝する。和歌山教区からは51団体総勢7200人が参拝する予定。参拝当日は、事前に送付される記念バック、くつ袋、参拝章、オレンジ色のスカーフをご持参ください。特にスカーフは和歌山教区の目印となりますので、必ず目立つところ身に付けてください。

寺婦連盟主催 「同朋運動研修会」開催

去る1月20日(木) 教区寺族婦人会連盟主催にて、『親鸞聖人750回大遠忌法要を迎えるにあたって』「親鸞聖人に学ぶ同朋運動」なぜ今、同朋運動なのかのテーマのもと、財団法人同和教育振興会理事の岩本孝樹先生を講師に迎え、親鸞聖人の歩みを通して見えてくる今日の同朋運動について理解を深めた。参加者は、13人。



如月忌

2月7日(月)に仏婦総連盟の元杖を起こしてくださった九條武子様を偲び「如月忌」が本山において開催され全国の仏婦会員ら1千200人が参拝した。法要は仏婦総連盟総裁である裏方様ご臨席のもと営まれ、引き続き貴島信行仏婦総連盟講師が記念講演を行った。
また、白洲では参拝者にぜんざいや甘茶などの接待が行われた。

僧侶研修会が 開催される

2月25日に鷺森別院にて「和歌山教区住職・僧侶・寺族・基推委委員研修―基幹運動推進研修会」を開催し、41人が参加した。

連研中央講師・財団法人同和教育振興会常任研究員の石崎博毅師が「法要儀礼から見る今後の基幹運動」と題して講義。

これまで「同朋教団としての儀礼論」はあまり論じられてこなかった。類聚問題などは指摘されてきたが、差定や法要形式などは「伝統」としてあまり触れられず、基幹運動と直

接関係ないところで肅々と受け継がれてきた。



親鸞聖人の750回大遠忌を迎えていく教団にとって、基幹運動の取り組みの成果として法要とはいかなるものか、現法要はどこまでも僧侶が執行するものとなっているが、今後、門信徒と僧侶がともに法要執行するといった次元で法要を見直していくことを考えていけるのか、これからの課題として問題提起された。徹底した御同朋の精神のもとにお念仏の教えの中で共に生き抜かれ親鸞聖人の750回大遠忌法要を迎える私たちにとって、あらためて実際の「法要・儀礼」が宗祖のお心とご生涯を学ぶ視点に立っているか、今一度考えていく機会となった。

教学研究会 (寺青・仏青)

「偈文を学ぶ」と題して、3月4日(金)に森田眞円先生を講師に迎え研修会が開催され、17人が参加した。

昨年は「重誓偈」、今年は「讚佛偈」について研鑽を深めた。



この研修会は寺族青年連盟と仏教青年連盟が共催し、日常においてよくお勤めされ馴染みのある偈文について、より一層学びを深めようと、また、ご門徒に向けて、偈文の内容についてわかりやすい解説を聞いていただくご縁になればと開催された。

寺院子弟研修会開催のお知らせ

3月28日から一泊で小学校から中学校3年生までを対象として寺院子弟研修会が開催されます。

毎年、本願寺鷺森別院を会場にして、お勤めの練習をはじめ、工作やゲームと、学びと交流を深めるため開催されていますが、今年も和歌山市立少年自然の家(和歌山市加太)を会場にして飯炊爨や、ウォークラリーなどが計画されています。ぜひご参加ください。また、スタッフも募集いたします。詳細は、和歌山教区教務所まで。

世界仏婦大会

四年に一度開催される世界仏婦大会の第14回大会が5月16日・17日、親鸞聖人750回大遠忌に併せ、本場で開催される。日本で開催される世界大会は13年ぶり。『世のなか安穩なれ』の大会テーマのもと世界各国より5千人が集う。和歌山教区からは100人の会員が参加することとなっている。

*****教区だより*****

2011年3月

- 1日 教区布教団研修会
2日 常備会
3日 門徒総代会念仏奉仕団(本山/~4日)
4日 スカウト仏教章研修会
5日 連研修者研修会
近畿ブロック仏青研修会(京都/~6日)
7日 近同推会員研修会(奈良)
8日 第12回布教団連続法座
13日 和歌山組キッズサンガ
14日 近畿仏婦推進協議会(京都/~15日)
15日 門推協聞法の集い
18日 スカウト仏教章研修会
25日 教区会
27日 御坊組お待ち受け法要
28日 寺院子弟研修会(~29日)

4月

- 13日 (全国)同宗連30周年記念大会(京都)
15日 門推協聞法の集い
24日 和歌山西組キッズサンガ
25日 仏婦恵信尼さま顕彰平和の集い

5月

- 16日 世界仏婦大会(本山/~17日)

6月

- 4日 同和教育振興会設立50周年記念式典
9日 少年連盟結成50周年記念大会(本山)
11日 近畿ブロック保育連盟新任補任式(本山)
15日 門推協聞法の集い

*****別院だより*****

鷺森別院

【別院こども会】

3月30日 本山参拝旅行
毎月第2土曜 午前10時~12時
開催日 4月9日・5月14日・6月11日

【常例法座】

毎月15・16日 午後1時30分より
3月 和氣秀剛師(奈良教区)
4月 鈴木寿昭師(東北教区)
6月 冬野正隆師(奈良教区)

【二尊会】

5月13日~16日 午後1時30分より 谷間徹誠師(石川教区)

【降誕会】

5月20日 午前10時より杉本正信(鷺森別院輪番)

【総永代経】

6月19日 午後1時30分より

日高別院

【常例法座】

4月20日 午後1時30分より
鈴木寿昭師(東北教区)

【降誕会・花まつり・湯川忌】

5月15日 午後1時30分より

【永代経】

6月20日 午後1時30分より植木政隆師(大阪教区)

有田北組モデル事業

有田北組担当のもと、今年度門徒総代会モデル事業が2月27日(日)に開催された。当日会場となった西光寺(亀井利行住職)に有田北組の門徒総代をはじめ各組の役員など106人が参集した。有田北組の3ヶ寺の総代より修復工事や再興についての取り組みや現状の報告などが行われた。全体協議会では、「寺院活動の活性化に向けて」活発な意見交換が行われた。

教師

妻木 茂 海南組 弘誓寺
三澤 泉 海南組 西専寺
藤本唯瑛 伊那組 極楽寺

逝去

中田眞淳 伊那組 教善寺
前住職 平成22年12月25日
西本榮子 海南組 西光寺
衆徒 平成23年1月29日
北條憲彰 和歌山西組 浄福寺
住職 平成23年2月17日
松本喜代乃 和歌山東組 光永寺
前坊守 平成23年2月24日

ご生前のご活躍ご尽力に感謝申しあげ、謹んで敬申の意を表します。